

福岡市におけるノロウイルス（NoV）GII.17の検出状況

保健科学課 古川 英臣・松藤 貴久・財津 修一・中牟田 啓子

保健福祉局食品安全推進課 庄嶋 貴之・高塚 公章・日高 千恵

保健福祉局保健予防課 古賀 順也・植山 誠・執行 睦実

病原微生物検出情報

2015年1月に初めてノロウイルス（NoV）GII.17を検出し、それ以降継続的に検出したので、2016年3月までの概要について報告する。

NoVを検出した36事例のうちNoV GII.17が検出された事例は18件で、半数を占めていた。

食中毒関係事例ではGII.17は16事例から検出され、そのうち7事例についてはGII.17以外のNoVも同時に検出された。さらに、そのうち3事例については同一検体から2つの異なる遺伝子型のNoVが検出された。感染症調査事例2件においてはGII.17のみが検出された。

検出されたNoV GII.17株はすべてKawasaki308類似株で、4つのクラスターを形成した。また、各事例間に地理的・時間的な偏りはなく、疫学調査においても関連性は認められなかった。食中毒関係の2事例においては、同一事例の中から、異なるクラスターのGII.17株を検出した。